



祝日は国旗を掲揚しましょう。

皇紀2681年  
一如月一  
2月号

発行所  
生長の家両丹道場  
舞鶴市字北吸 497 番地  
TEL (0773) 62-1443  
FAX (0773) 63-7861  
白鳩会 (0773) 63-5080  
発行人 伊藤 夏樹  
編集人 船木 悟

◎「自然と共に伸びる運動」の実現のため、  
「神においてすべて一体」の宗教心を多くの人に広げよう！  
◎第一線で「ネットフォーラム」を活発に開催して、壮年層会  
員の拡大と普及誌購読者・聖使命会員拡大の一年にしよう！



# 神・自然・人間は本来一体である “新しい文明”の基礎づくりを進めよう！

そのままの心（抜粋）

生長の家前総裁 谷口 清超

日本の伝統的なよさとは何かということを考えてみると、それは「自然を大切にす」心である。自然とは大自然のことで、これは神ということばを使うと「火水」である。陰と陽とで全てが出来ている。全てのものの造り主が「火水」であり、神だ。そしてそれは自然そのままなのである。あれやこれやをくつつけなくて、生地のままのものである。

そこで自然を大切にし、家でも建てる時には木をそのまま使って家を建て、白木のままでその自然の美しさを大切にしたい。だから神社の建築は、多く白木で作られた。住民の家も、昔は土を盛り上げて、自然の草や葉で屋根を作ったりした。家具でも、あまりゴテゴテと色をつけなかったものだ。食事でも生物をそのまま使い、素材を大切にしたい日本料理が発達したのである。

このように吾々の先祖は大自然を愛したから、全てのものに感謝して暮らした。森や山の植物でも、むやみに倒したり取り去ったりはしない。必ずそのいのちが永續するように、幼い木や種子を残しておいた。つまり「天地一切のものに感謝した」という美しい伝統がある。それは「そのままの心を大切にしたい」のであって、この二つの点が、『生長の家』信徒行持要目の中に、第一条と第二条として記されているのである。

『美しい国と人のために』二五―二六頁

本年の運動方針について

京都第二教区教化部長 伊藤 夏樹

私たちはこれまで生長の家の日常基本的な行事活動として、主に次の二つに取り組んできました。一つは信徒や新人が集って生長の家の教えを学ぶ誌友会などの開催です。そして二つめはプロジェクト型組織（PBS）の活動であり、これは自然素材で日用品を手作りし、自然環境に配慮した菜園で野菜を育て、ノミート料理を工夫し、化石燃料によらない交通手段として自転車を活用するなどして、自らが信仰に基づく倫理的な生活を実践するとともに、PBSのメンバーとなって人々を誘ってミニイベントを開催、それらの喜びをインターネット上に発信する活動です。

ところが昨年、これまでの対面による行事が思うように開催できなくなり、新たな取り組みが始まりました。それが「生長の家ネットフォーラム」です。これはスマホやパソコンなどでインターネットを利用して各自が自宅に居ながら講話を視聴したり、座談会をしたり、先祖供養祭など宗教行に参加したり、会議をしたりできるもので、私たちの教区でも各種の「生長の家ネットフォーラム」の開催をすすめました。特に素晴らしいことは、その研修版において、総裁先生、白鳩会総裁

先生が配信してくださる動画メッセージをいつでも、どこでも、何度でも視聴して学ぶことができ点です。これまでの誌友会では不可能なことでした。この画期的な取り組みは、対面による行事が完全に可能となる「コロナ後」も続けられるものであり、本年はさらに広く「生長の家ネットフォーラム」の運動を促していきます。これが本年度の運動方針に掲げられた次の方策です。  
「日本の幹部・信徒は、「生長の家ネットフォーラム（研修版）」に積極的に参加するだけでなく、総裁先生の上記サイトや、「生長の家講話ビデオのページ」のサイトを視聴して、真理の研鑽と運動の理解を深めるだけでなく、自ら主催者となって「生長の家ネットフォーラム（研修版）」の運動を積極的に展開する」（機関誌『生長の家』二〇二〇年十二月号四十頁）

しかし、私たち会員の全員がインターネットを利用できる環境にいるわけではありません。特にこれまで生長の家の教えの普及に尽力されてきた先輩方のなかには、パソコンはもとよりスマホさえ持たない方も多いようです。「生長の家ネットフォーラム」に参加することができない方々が大量勢いらっしゃるわけです。こうしたインターネットを利用できない方々が孤立しないように、行き

届いたお世話活動、愛行の実践をこれまで以上に充実させなければなりません。三密は避けながらも連絡を密に繋がりを保ち、スマホ等の活用について説明したり、一緒になって講話の視聴を助けるなど、支え合い励まし合うことに、これまで以上に力を入れて取り組みます。これが次の方策です。

「幹部・信徒は、インターネットを利用しない幹部・信徒が孤立しないよう、電話、三密（密閉、密集、密接）を避けての家庭訪問や、絵手紙、絵封筒などの手段を活用して繋がりを保ち、支え合い、励まし合いなどの愛行実践を行う」（同書四一〜四二頁）

最後に、本年度のまったく新しい取り組みを一点。その方策とは、私たちが自分の居住する地域の「固有の自然の恵みと、その自然と調和した文化的伝統に感謝する」ということです。感謝するとは、自分の居住地域固有の自然の営みや、その自然と調和した文化的伝統を知り、これまでに失われていった文化的伝統を知る。そして、それらの伝統を顕彰し、現代にも維持また場合によっては新しく復活させることです。この興味深い方策の意義詳細については、総裁先生の『唐松模様』二〇二〇年十一月二十日の「居住地の自然と文化を顕彰する」でご確認ください。

「幹部・信徒は、居住する地域の自然や文化遺産の豊かさを改めて見直し、固有の自然の恵みと、その自然と調和した文化的伝統に感謝し、所属教区の教化部のサイト等に掲載し、自然と人間の深い関わりを提示する」（同書四二頁）

私たちは「新しい文明」の構築に向けて、これらの運動を力強く前進させて参ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

「今年のお正月の過し方」

青年会事務局長 渡利 あすか

今年にはコロナ禍の影響で年末年始も外出自粛を求められることとなりました。例年は家族とお正月を過ごしておりますが、今年はそのような情勢でしたのでお互い行き来はせず、それぞれの家で休みを過ごしました。さて、困ったのはお正月の料理です。いつもなら母がおせち料理を作るのを少しだけ手伝ったりしつつも基本的に食べる専門でいたのですが、頼りの母は離れて暮らしてしまっています。そこで、この冬はどこに遊びに行くでもなく家の中に閉じこもることしか出来ないの、せつ々だから自分で作ってみようと思いい立ちます。祖母が使っていた古めかしいお重箱を取り出し、用意した料理を詰めていく。一人で時間を持て余していたからこそ出来た年末年始の過し方です。こんな状況下でも滅入らずに、丁寧な暮らしを心がけて過ごすことが出来ましたことを、神様に感謝申し上げます。ありがとうございます。



書籍のご案内

カラー写真多数収録

宗教法人「生長の家」(SNIオーガニック菜園部編)

「新しい文明」を築くために2  
食卓から未来を変える



「SNIオーガニック菜園部」の活動紹介のほか、肉食を控え、地産地消などを心がけた食事や、家庭菜園作りが、地球環境を守り、世界の飢餓を防ぐことを分かりやすく解説。

▼新書判・152頁

▼1000円▼日本教文社刊

～ 地方講師会だより ～

合掌ありがとうございます。

地方講師・光明実践委員の皆様には、「自然と共に伸びる運動」の実現のためにご尽力頂いてますことを心より感謝申し上げます。

去る十二月十四日(月) 十時～十時四十五分、ネットフォーラムの研修会を開催致しました。参加者は三十二名でした。

その中で新宮義人講師が機関誌十二月号の読みどころを紹介しました。素晴らしい発表ありがとうございました。

同研修内容は、伊藤夏樹教化部長ご指導のもと、機関誌『生長の家』十二月号一頁、法語「取り越し苦労を止める」、『新しい文明』を築こう(上巻)二〇二〇四頁を勉強させて頂きました。

令和三年二月度地方講師・光明実践委員ネットフォーラムの研修会ご案内  
日 時：令和三年二月二十八日(日) 十時～十時五〇分

テキスト：会員必携書『新しい文明を築こう』上巻(基礎編) 中巻(実践編) 『生長の家』

機関誌当月号、普及誌三誌No.132

※活動報告書は出講されていなくても毎月十日までに提出してくださいませすようお願いいたします。

※「教化員申請」の案内をさせて頂いた方は、随時受付させて頂いていますので申請をよろしくお願ひ申し上げます。







新春総集会が1月6日(水)10時より行われ、その様子が Facebook の京都第二教区組織会員のグループ上で配信されました。

新年祭に引き続き地方褒賞授与式が行われ、受賞者は52名で、五者と副会長が代表で出席しました。おめでとうございます。



## 2 月度の対策部だより

### 普及誌購読者拡大

いつも普及誌をご愛読して頂きありがとうございます。

令和3年度の目標は、1支部1名以上の新規購読者拡大としましたところ、2月号の新規購読者が27名ありました。まだまだ、続々と申込みの報告を聞かせて頂いております。ありがとうございます。普及誌の良いところは、読みたい時に読める。繰り返し読める。感動したところを日時計日記に書いて残しておける。気になる方に「これ、読んでみて」と、勧められる。日々生活に役立つことが満載です。普及誌3誌を常に手元において頂き、読み続けることで本当の幸せを引き寄せる「心の習慣」が自然に身に付きます。普及誌の継続購読もよろしくお願い致します。

No,130『いのちの環』俳壇 綾部総連 大槻紀子様のご投稿が掲載されています。

### 聖使命会員拡大

合掌、ありがとうございます。

日頃は、聖使命会員拡大にご尽力頂きありがとうございます。令和3年度も1支部2名の目標を掲げ、突破すべく取り組んでくださっている事を心から感謝申し上げます。皆様からの尊い献資により、御縁のある多くの方々を救う素晴らしい聖使命会に1人でも多くの方の入会をお待ちしております。

### 支部・誌友会・会員

2月、お節分ですね。赤鬼さん、青鬼さんコロナウイルスを退治してくださいな。でも、御教えを知っています私達は、人間も動物も細菌も皆、神の命を宿しています。コロナウイルスを敵対視せずに天地一切のものに感謝し、日々暮らしたいと思えます。早く誌友会が開催出来ますように。

〈うちんとこの誌友会〉

ありがとうございます。綾部総連駅前支部です。

私達の支部は、誌友会を開催しますとありがたいことに、いつも楽しみにしておられ多くの誌友さんに参加して頂いております。今は、新型コロナで開催が出来ず残念ですが、「よろこび」や「糸でんわ」をお届けした時に元気な姿を拝見しながらお話をさせて頂くのが楽しみです。

誌友さんは、聖使命会費を準備して待ってくださっています。大変ありがたく感謝の気持ちでお預かりさせて頂きます。新型コロナが収束し、また、いつものような楽しく有意義な誌友会が開催出来ますようにと祈っております。

# 令和3年2月度行事予定

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	曜
		幹事会・評議員会(10時) 五者会議【ネットフォーラム】		〔道場休館日〕 振替	〔祝〕建国記念の日祝賀式 【ライブ配信】	浄心行【ネットフォーラム】(10時)						〔道場休館日〕	水末一稻荷初午祭		聖使命感謝奉納祭	本部・教化部行事
																教化部長
大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	休み	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	休み	休み	休み	休み	休み	休み	休み	早朝行事担当

☆五者会議、講師会一日研修会、(白)組織会議はネットフォーラムを予定しております。また、建国記念の日祝賀会、先祖供養祭、住吉神社月次祭はフェイスブックで会員へライブ動画を配信しておりますので、活用ください。

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	日
日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	曜
〔講〕地方講師・光栄一日研修会(10時)及び同役員会・(10時50分)【ネットフォーラム】	(白)総連会長・対策部長担当会議(13時30分)【ネットフォーラム】		〔道場休館日〕	(白)正副会長会議(10時)【ネットフォーラム】	〔祝〕天皇誕生日〔道場休館日〕		(相)正副・地区連長会議(10時)普及誌仕分け日		〔道場休館日〕	住吉神社月次祭(10時)【ライブ配信】	先祖供養祭(10時)【ライブ配信】	本部・教化部行事
												教化部長
富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	休み	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	休み	休み	河合・船木	早朝行事担当

- ☆お賽銭ありがとうございます  
15,015 円
- ☆生物多様性募金ありがとうございます。  
13,628 円
- ☆祈り合いの神想観奉納金ありがとうございます。  
44,400 円
- ☆奉納金ありがとうございます。  
匿名 3,000 円

**新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について**  
令和3年1月14日～2月7日の期間、京都府では緊急事態宣言が出され、いまだ日本国内及び全世界では感染者が後を絶たない状況続く中、道場ではこれまで通り、感染予防対策を維持していく予定です。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。